

3 上町は見どころいっぱい

上町には、ずんばいよかところがある。たくさんいいところがあります。そんなからおいどんのオススメを紹介しよんぞ。

南洲墓地、西郷南洲顕彰館(上竜尾町2-1)
 南洲墓地には、西南戦争で戦死した西郷隆盛など約2千人が埋葬されています。顕彰館は、昭和53年に西郷隆盛没後100年を記念して建てられました。西郷の業績などが紹介され、西郷の遺品も展示されています



ジオラマやビデオでおいどんの生涯が詳しく分かいます

福昌寺跡(池之上町48)
 島津家の菩提寺で、28代島津斉彬などの墓地があります。最盛期には1500人以上の僧侶が修行していたといわれますが、明治2年に廃仏毀釈で廃寺となりました。寺跡には鹿児島玉龍高校が建てられました



五代友厚誕生地(長田町31)
 薩摩藩の近代化や大阪経済の発展に尽力した五代友厚。最近ドラマでも注目を集めました。五代を紹介する石碑や案内板のほか、憩える広場が整備されました



命日の9月25日にオープンした新たなスポットごあんぞ

かんまちあ(浜町2-20)



祇園之洲公園、石橋記念公園・石橋記念館(浜町1-3)
 甲突川の五石橋を建造した岩永三五郎像や薩英戦争砲台跡があり、平成5年の集中豪雨で流されなかった「西田橋」(写真)など3橋が移設されています。記念館では五石橋の歴史を学べます



多賀山公園(清水町39外)
 日露戦争でバルチック艦隊を撃破した東郷平八郎元帥の銅像があります。桜島や錦江湾を背景に咲く桜も風情たっぷりです



大久保利通

4 上町の景観を守る

南洲門前通りは、おいどんが仕えた篤姫さまの生家の石垣が当時のまま残され、石張りの歩道や街路樹なども整備される。まこてよかすくくい景観ごあんぞ。

本市では「南洲門前通り地区景観計画」づくりを市民の皆さんと一緒に進めています。来年4月施行予定のこの計画で、南洲門前通り付近一帯(約16.5ha)の建築物などの高さ、形態、色彩といったルールを定めるなど、良好な景観づくりを進めていきます。計画案の内容など詳しくは都市景観課216-1425へ



今回の計画づくりに携わり、新しい建物と古い町並みとが調和しながら、上町らしい景観を形成・保全していくことが大切だと感じています。この上町での景観を守る取り組みが市内全域に広がっていくことを願っています。明治維新150年などを控えている中、上町らしさを味わっていただける雰囲気づくりを今後とも続けていきます。



上町維新まちづくりプロジェクト 代表 春山 亮さん



篤姫(天璋院)

皆さん、ぜひ遊びに来てください。これから、上町をよろしめたのめんでなめ。(よろしくお願ひしますね。)

2018年の明治維新150年に向けて、おいどんもきばつど!(がんばります!)



市長 コラム

立冬〜冬に向けて

鹿児島市長 森 博幸

今月7日は「立冬」です。朝晩が冷え込み、木々も色付いて、晩秋から冬が近いことを感じさせる季節となりました。街なかでも、毎年恒例のおはら祭が終わると、クリスマスイルミネーションの装飾に変わっていきます。各ご家庭では、いよいよ冬本番に向けた暖房器具や冬物衣料の準備を始める頃ではないでしょうか。

季節の変わり目、風邪などひかないような食を通じた体力づくりも大切です。昔から風邪予防に効果があるといわれているのが、冬野菜の代表、白ネギです。

このほか、ホウレンソウや白菜、大根やニンジンなど、旬の野菜は、ビタミンやミネラルなどの栄養素をたっぷり含み、寒くなればなるほど、風味が増しおいしくなります。

また、旬の物や地元の物を食べると体の調子が整うといわれています。温かい料理が恋しくなるこの時期、鍋物や豚汁などで旬の野菜をおいしくいただくことができます。今月の食育レシピ(9画)では、冬野菜を使った料理を紹介しています。これからの本格的な寒さに備え、食卓も冬支度をしてみませんか。

ところで、本市では、今月下旬から旬の恵みを味わうことができる農業まつりを、都市農業センターをはじめ各地で開催します。市内各地の特色ある農畜産物の販売やさまざまなイベントを通して、秋・冬の実りも感じるができますので、ぜひ会場にお出かけください。

立冬を迎え、もみじ狩りなど、行楽にも最適な季節です。清々しい空気に触れながら、来たるべき厳しい寒さに心も体もしっかりと備え、毎日を健やかに元気で過ごしたいですね。